

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	一人ひとりの確かな学びを支えるために、学校目標の実現に向けて教育課程を見直し、学習内容の系統化を図る。	①教育課程の見直しを図るために、外部講師を招聘し、助言をいただきながら、研究に取組む ②一人ひとりに応じたICTを活用した授業展開ができるよう研修会を行い、授業実践を共有し、構築していく。	①外部講師を招聘し、校内研究の進め方について助言をいただき、共有理解を図る。 ②研修会を実施する。	①外部講師を招聘し、校内研究の進め方について助言をいただき、共有理解を図ることができたか。 ②研修会を実施することができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	個別教育計画の作成に当たり、アセスメントを取り入れ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させながら、指導に取組む。 ②意思決定力の大切さを理解し、児童生徒が選択できる量や質を高めていく。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させ、指導に取組む。 ②意思決定支援についての研修会を実施する。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させ、指導に取組むことができたか。 ②意思決定支援についての研修会を実施することができたか。					
3	進路指導・支援	地域の連携機関との連携をきつ図りながら、児童・生徒が地域で豊かに暮らし働くことに繋がる指導・支援を展開する。	①児童生徒一人ひとりが様々な場面で支援を受けながら主体的に取組み、自信が持てる教育を推進する。 ②家庭、関係機関と連携し、切れ目ない支援体制を構築する。	①児童生徒が主体的に取組めるよう教員一人ひとりが支援方法を考える。 ②個別面談等を通して、職員一人ひとりが、支援について考え、校内組織を活用して取組む。	①児童生徒が主体的に取組めるよう教員一人ひとりが支援方法を考えることができたか。 ②個別面談等を通して、職員一人ひとりが、支援について考え、校内組織を活用して取組むことができたか。					
4	地域等との協働	共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しむ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。	①地域の資源を活用した授業を展開するとともに、教育課程での位置づけを明確にする。 ②スポーツフェスタ、あおばフェスタの行事の在り方を検討する。	①-1 地域の資源を活用した授業を行う。 ①-2 校内研究の中で整理していく。 ②保護者や地域の方の参加方法について検討する。	①-1 地域の資源を活用した授業を行うことができたか。 ①-2 校内研究の中で整理することができたか。 ②保護者や地域の方の参加方法について検討する。					
5	学校管理 学校運営	児童・生徒、保護者、教職員、地域と誰もが、安全・安心で使いやすく整った教育環境の充実を図る。	①仕事の効率化を図るために、データと資料の整理し引継ぎができるよう取組む。 ②学校から地域、保護者への情報発信内容を整理する。 ③児童生徒の安全を守るための(研修会や	①学部、グループごとに、使用しないデータを消去する。 ②現在発信されている便りの内容を整理し、発信していく。 ③-1 児童生徒の保健に関する研修会を実施す	①学部、グループごとに、使用しないデータを消去することができたか。 ②現在発信されている便りの内容を整理し、発信することができたか。 ③-1 児童生徒の保健に関する研修会を実施する					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		校内会議、Teams等を活用し、)必要な体制を周知し、訓練や緊急シミュレーションを通して行動の定着を図る。	る。 ③-2 避難訓練やシェイクアウト訓練、搜索訓練等を行う。	ことができたか。 ③-2 避難訓練やシェイクアウト訓練、搜索訓練等を行うことができたか。					